

イノシシの生態と習性

体の中で
電気を通すのは鼻だけ。
剛毛でおおわれている体は電線や
有刺鉄線が当たっても平気。



鼻先で70kgの物を
持ち上げる力がある。



茂みのある場所を好み、
かくれるのが得意。



くぐり抜けるのが得意。



ジャンプ力は助走なしで
1mを飛び越える。



慎重で臆病だが、市内で目撃
されるイノシシは人に慣れており
大胆不敵。



一度エサを
食べた場所は忘れない。



活動時間は朝・昼・夜と様々。
人の少ない夜や朝方に
多く活動するので注意。



野菜、果物、イモ類や栗が
大好きで、青草も食べる。



出産は4~6月、一度に
生まれる子どもの数は4~6頭



子どもの近くには母イノシシが
いるため、気をつけて。



市内でイノシシが 頻繁に目撃されています!



以前までは、山奥などの限られた地域でしか目撃されませんでした。しかし、近年、森林環境や営農状況の変化などにより、人里や市街地でも多数目撃されており、農作物への被害や、道端や敷地の掘り起こしなど、住環境への被害が頻発しています。

遭遇したら、 「慌てず」、「騒がず」、「追い込まず」

刺激しない

- イノシシは本来臆病な動物です。イノシシも突然人間に出会うことを恐れています。
- 音の鳴るものなどを携帯してこちらの存在を知らせるようにしましょう。人間から威嚇したり近づいたりしない限り、襲ってくることはまずありません。



静かに退避

- イノシシに遭遇した時は、騒がずに静かに退避してください。
- 逃げ場のない場所に追い込むと突進してくる習性があるため、絶対にやめましょう。万一、気性の荒いイノシシに出会い近づいてきた時は、高い所に登るなどして避難してください。



子どもたちへの対応

- 最近、学校、通学路、公園、保育園でも多数目撃されています。事故を未然に防ぐためには、子供たちにイノシシの習性を理解してもらうとともに、通学時には鈴などを携帯し常に音を出すなど、人の存在を知らせるようにすることが有効です。



人里や市街地に来させないために

エサ場を作らない

- 田畑はもとより、家庭の庭先や菜園の周りに野菜・果物くずなどを放置しないようにしましょう。イノシシがそこをエサ場と認識し覚えてしまいます。
- ごみ集積場もイノシシにとっては格好のエサ場です。地域内でごみ捨てのルールを守り、荒らされないよう清潔に管理することがイノシシを近づかせないことにつながります。



防護施設の設置

- 電気柵、塀やフェンスなどの防護施設の設置は、侵入防止や活動抑制に効果があります。

